

令和5年度君津市総合計画に係る施策評価結果(比較表)

柱	施策分野	概要	指標	現状値		実績値 R4(2022)	実績値 R5(2023)	目標値		R4(2022) 評価	R5(2023) 評価	R5(2023)評価理由	担当課
				数値	時点			数値	時点				
1 経済・環境	1 商工業振興	市内企業の活性化や新たな企業の誘致を通して、雇用の場を創出するとともにまちを牽引する力強い経済を実現します。	①商業(卸売業・小売業)の年間販売額	152,568百万円	平成28年度	142,906百万円 (令和2年)	—	167,824百万円	令和8年度	C	B	工業は目標を超える成長をみせており、商業についても卸売業の新規立地があった。また、きみジョブについても、目標を上回る状況にある。	経済振興課
			②工業(製造品)の年間出荷額	775,998百万円	令和元年度	585,110百万円 (令和2年)	903,487百万円 (令和3年)	853,597百万円	令和8年度				
			③新規企業立地件数(投下固定資産取得による立地奨励金対象件数)	—	—	0件	1件	2件	令和8年度				
			④きみジョブの紹介による就職人数	48人(年間)	令和2年10月～ 令和3年9月	73人(年間)	74人(年間)	62人(年間)	令和8年度				
			⑤事業者のデジタル化に向けた啓発セミナーの開催回数	新規	—	0回/年	1回/年	2回/年	令和8年度				
	2 農林業振興	新しい技術・施設の導入等により農業生産の安定化を図るとともに、水と緑に恵まれた豊かな自然環境を生かし、多くの人が活躍できる農林業を実現します。	①家族経営協定の締結数	25件	令和2年度	25件	25件	30件	令和8年度	B	B	地域農業の将来像を示す地域計画の策定を通じ、農業者と多様な担い手が活躍できる環境の整備や安定した農業経営の確立の実現等に向け協議が進んでいる。また、森林環境譲与税及び国庫補助金を活用した社会インフラ施設周辺に係る民有林の事前伐採のほか、官民連携による植樹活動を実施し、目標達成に向け概ね順調に進んでいる。	農政課
			②認定農業者数	102件	令和2年度	108件	107件	110件	令和8年度				
			③森林施業面積	58ha	令和2年度	66ha	68ha	105ha	令和8年度				
	3 環境共生	豊かな自然と水に恵まれた環境を保全し、環境負荷の低減に向けた循環型社会の形成及び脱炭素社会の実現に向けた取組を推進し、将来に引き継ぐ環境づくりを地域全体で進めます。	①本市から排出される1年間の温室効果ガス	2,875千t-CO2	平成30年度	—	—	減少させる	令和8年度	B	B	従来より小糸川と小櫃川の水質の環境基準適合率は100%を堅持しており、市民1人1日当たりのごみ総排出量についても、令和元年度よりも減少している。また、温室効果ガスの削減に関しては、令和5年8月に策定された第5次君津市地球温暖化対策実行計画に基づき、様々な取組を行っている。	環境衛生課
			②小糸川と小櫃川の水質の環境基準適合率	100%	令和2年度	100%	100%	100%を維持	令和8年度				
			③市民1人1日当たりのごみ総排出量	946g	令和元年度	908g	893g	861g	令和8年度				
	4 観光振興	本市固有の資源を生かした各種取組により君津の魅力を市内外に発信し、観光客のリピーター増加や君津のイメージアップを目指します。	①観光入込客数	2,072千人	令和2年度	2,269千人	2,437千人	2,750千人	令和8年度	B	B	指標に対する達成度は、目標値に対して順調に推移している	経済振興課
②Facebook、Instagram等のフォロワー数			1,810人	令和2年度	2,993人	3,588人	7,000人	令和8年度					
2 健康・福祉	1 地域福祉	身近な地域の支え合い・助け合いにより、全ての人が孤立することなく、地域で安心して暮らせる環境づくりを目指す。	①就労支援による就労決定件数	50件	平成30年度から令和2年度までの平均値	66件	53件	65件	令和8年度	B	B	就労決定件数の減少は、相談件数自体が令和4年度に比して減少(△15件)したことも影響している。一方で、相談者に寄り添った支援により利用者等から高い評価をいただいている(福祉相談支援センター)。この指標のもととなる就労支援事業を活用せずに就職した者も22件あり、加えて現状値の50件を上回っている。ボランティア活動については君津市社会福祉協議会にて実施している。ボランティア活動参加者数については、コロナ禍の影響や高齢化等の影響により減少傾向が続いているが令和4年度に比して大幅な減少には至っておらず、内訳も「定例会、講座、研修会等」の参加人数は減少しているものの、環境美化、行事協力、音訳・朗読、演芸等の屋外活動や外部と関係する活動は大幅に増加している。また、地域の担い手確保や育成のための入門講座・養成講座を実施することができた。これらを総合的に評価しBとした。	厚生課
			②福祉分野におけるボランティア活動参加者数	19,720人	平成30年度から令和2年度までの平均値	12,230人	12,190人	22,600人	令和8年度				
	2 高齢者福祉	高齢者が地域の支え合いの中で、いつまでも健康でいきいきと暮らせる地域づくりを目指す。	①自立高齢者率(介護・支援を必要としない65歳以上の高齢者の割合)	83.4%	令和2年度	83.5%	82.7%	84.0%	令和8年度	B	B	介護保険などによるフォーマル、住民主体の活動などによるインフォーマル両方の側面から、地域で活動できる人材の育成を実施し、「介護人材の確保」と「制度の持続可能性確保」に向けて取り組んでいる。	高齢者支援課
			②認知症サポーター養成者数	6,580人	令和2年度	6,646人	6,880人	6,680人	令和8年度				
			③地域密着型サービスの事業所数	26事業所	令和2年度	27事業所	27事業所	30事業所	令和8年度				
	3 障害者福祉	障害のある方が自立して生活でき、自分らしさを発揮して活躍できるまちを目指す。	①生活介護利用者数	207人/月	令和2年度	218人/月	252人/月	225人/月	令和8年度	B	A	令和6年度以降の障害福祉施策を推進する計画を策定するとともに、各種施策についても関係課並びに関係機関と連携を図りながら、着実に推進することができた。指標の達成状況においても目標値が既に達成した項目もあるなど実績値も評価できる。	障がい福祉課
			②福祉施設から一般就労へ移行者数	28人	令和2年度	25人	30人	40人	令和8年度				
	4 保健・医療	地域医療の充実を促進するとともに、病気を未然に防いで市民が健康で元気に暮らせるまちを目指す。	①健康寿命(平均自立期間)	男性78.6歳 女性83.7歳	令和2年度	男性79.3歳 女性84.3歳	男性79.7歳 女性84.1歳	男性80.0歳 女性84.1歳	令和8年度	A	A	健康寿命目標値に対し、男性は令和2年度値から1.1歳の上昇で79%、女性は現状値から0.4歳の上昇で100%の達成率となったため。	健康づくり課
	5 スポーツ推進	運動・スポーツに親しむことのできる環境をつくり、「する」「みる」「ささえる」「むすぶ」スポーツの魅力を広めるとともに、一人ひとりが健康で個性を生かせる運動・スポーツを推進します。	①週1回以上運動・スポーツをすると回答した市民(成人)の割合	51.1%	令和3年度	—	75.1%	59.9%	令和8年度	B	B	施設の老朽化対策に課題が残るが、各イベントの安全で効果的な開催方法について関係団体と協議をしながら取り組んでおり、施策分野における目標の達成に向け、おおむね順調に進んでいる。	スポーツ推進課
			②身近に運動・スポーツを行う環境があると回答した市民の割合	小中学生92.3% 一般52.3%	令和3年度	—	小中学生82.2% 一般55.8%	小中学生 現状維持 一般57.5%	令和8年度				

令和5年度君津市総合計画に係る施策評価結果(比較表)

柱	施策分野	概要	指標	現状値		実績値 R4(2022)	実績値 R5(2023)	目標値		R4(2022) 評価	R5(2023) 評価	R5(2023)評価理由	担当課
				数値	時点			数値	時点				
3 子育て・ 教育・ 文化	1 子育て	子どもの状況に応じた子育て支援サービスの提供や多様化するニーズに沿った支援を地域全体で行うことで子どもたちの健やかな成長をサポートします。	①「この地域で、今後も子育てしていきたい」と思う人の割合 ②保育所等利用待機児童数 ③放課後児童クラブの待機児童数	65.5% 85人 13人	平成30年度～ 令和2年度の平均値 令和3年度 令和3年度	66.5% 9人 0人	66.6% 0人 0人	71.5% 0人 0人	令和8年度 令和8年度 令和8年度	B B B	B B B	放課後児童クラブの待機児童数ゼロを維持するとともに、運営主体の見直しに向けた意向確認や協議を進めることができた。公立保育園の民営化や小規模保育園の誘致等保育の受け皿の確保は進んだものの、年間を通じての待機児童解消には至っていないため、さらなる保育士の確保や施設整備を推進していく必要がある。	こども政策課
	2 学校教育	子どもたちが、自ら考え自ら学ぶことのできる環境を整備します。	①「自ら考え自ら学ぶことができている」と感じている児童生徒の割合 ②「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることが出来ていると思う」と感じる児童生徒の割合 ③全国学力・学習調査の全国との相対値(全国平均を100とした場合) ④授業中にタブレット端末を週3日以上使用するクラス ⑤学校施設におけるトイレの洋式化率	新規 新規 小6国語95、算数94 中3国語94、数学89 新規 41.7%	— — 令和3年度 — 令和2年度	小学校72.3% 中学校72.7% 小学校72.9% 中学校70% 小6国語93、算数94 中3国語96、算数86	小学校72.4% 中学校72.1% 小学校76.3% 中学校79.6% 小6国語94.8、算数91.5 中3国語90.8、算数79.3	70.0% 70.0% 小6国語100、算数99 中3国語99、数学94 63.3% 62.6%	令和8年度 令和8年度 令和8年度 令和8年度 令和8年度	B B B B B	B B B B B	評価指標のうち、①「自ら考え自ら学ぶことができている」と感じている児童生徒の割合、②「児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と感じる児童生徒の割合及び⑤学校施設におけるトイレの洋式化率について、令和5年度の時点で目標値に達しているため。	学校教育課
	3 生涯学習	全ての市民の学が意欲を大切に、誰もが自由に自己を磨き続けることのできる環境を整備します。	①公民館利用者向けアンケートでの公民館事業における満足度 ②図書館利用者向けアンケートでの利用満足度	新規 新規	— —	88.7% —	91.6% 66.82%	90.0% 70.0%	令和8年度 令和8年度	B B	B B	清和地域拠点複合施設の整備とともに清和公民館が開館し、君津市民館等再整備基本計画を策定した。公民館事業における満足度も目標値に達している。図書館については目標値達成に向けて取り組んでいる。	生涯学習文化課
	4 文化・芸術振興	市民が文化・芸術活動を楽しむとともに、地域の伝統文化を継承していくことで、市民がいつでも心豊かに暮らしていける環境を整備します。	①市民文化ホール利用者の満足度 ②文化資源を活用した事業の満足度	97.6% 新規	令和2年度 —	98% 93.6%	98.3% 96.0%	100% 80.0%	令和8年度 令和8年度	B B	B B	様々な年代の市民が、君津市民文化ホールを拠点として多様な文化・芸術に触れることができる環境づくりや、地域の伝統文化を次世代につなげる環境づくりにおいては、おおむね目標を達成した。	生涯学習文化課
	5 多文化共生	あらゆる国々から来た人が交流し合っ互いの文化を認め合い、誰にとっても住みよいまちを目指します。	①国際交流協会の会員数 ②多言語表記の刊物等	326人 26	令和2年度 令和2年度	240人 29	261人 31	340人以上 36	令和8年度 令和8年度	D D	C C	出入国在留管理庁の電話通訳サービスの活用や、国際交流協会等と連携しチラシ等を多言語化するなど、外国人市民にとって暮らしやすい環境づくりに取り組んだ。国際交流協会の会員数については、日本語教室に参加する外国人が増えたことにより前年度から増加したものの、現状値を下回っており、更なる会員確保に向けた取組みが必要であるため、C評価とした。	企画調整課
4 安全安心・ 都市基盤	1 防災・減災	自助・共助・公助が一体となった総合力を発揮することで、災害により致命的な被害を負わない「強さ」と速やかに回復する「しなやかさ」を備え、市民が安全安心に暮らせる強靱なまちを目指します。	①自主防災組織カバー率(消防防災・震災対策現況調査に基づく)	85.4%	令和3年度	86.6%	86.6%	91.4%	令和8年度	B	B	大規模災害に対応するための様々な取組を実施し、防災力の強化が図られているため、おおむね順調に推移していると評価した。	危機管理課
	2 道路	経済・社会活動にとって不可欠な道路について、維持修繕や道路拡幅等を行い、安全な道路環境を整備します。また、近年増加する異常気象時であっても、安全な交通を確保し、災害に強い道路網の強化を図ります。	①舗装補修完了面積の割合(舗装維持修繕計画に基づく) ②橋梁補修完了率(橋梁長寿命化修繕計画に基づく早期措置段階のものが対象)	4.4% 21.1%	令和2年度 令和2年度	8.9% 31.6%	13.9% 42.1%	45.4% 55.3%	令和8年度 令和8年度	B B	C C	指標の達成状況より、橋梁補修完了率は計画通り順調に進んでいるが、舗装補修完了面積の割合は8%程度の遅れが見られるため、目標の達成に向け取り組み内容の見直しが必要と判断する。	道路整備課
	3 上下水道	安全で安定した水道水を供給し、良好な下水環境を保全するため、広域連携による経営基盤の強化により、上下水道施設の計画的な更新・災害対策や適切な維持管理を行います。	①水道事業の有効率(君津地域の配水量のうち、漏水などを除く有効利用された水量の割合) ②下水道事業計画区域内の下水道整備率	86.4% 76.7%	令和2年度 令和2年度	86.2% 79.2%	85.3% 80.0%	87%以上 79.7%	令和8年度 令和8年度	C C	B B	指標である有効率が減少傾向であるが、水道施設の整備や維持管理、下水道処理区域の拡大のための工事を実施しており、おおむね順調に進捗していると評価できる。	建設計画課
	4 消防・救急	あらゆる災害に対応できる強靱な消防・救急体制の構築とともに、市民の防火・防災意識を高め、自助・共助・公助の連携体制の強化により、災害に強く誰もが安心して暮らせるまちを目指します。	①消防団員充足率 ②出火件数(人口1万人当たり)	89.5% 3.19件	令和3年度 平成29年～ 令和3年の平均値	89.3% 3.53件	92.3% 3.82件	96.3% 3件	令和8年度 令和8年	D D	B B	火災予防の推進に当たり様々な取組を実施しているが出火件数(人口1万人あたり)は、やや増加した。一方で、消防団員の処遇の改善や分団の再編を実施したことにより、団員の負担軽減、団員充足率の向上につながった。また、各種災害に対応するため、消防活動用の備品等を購入すると共に水槽付き消防自動車を更新するなど消防力の充実強化を図り、概ね順調に推移していると評価した。	消防総務課
	5 防犯・消費生活・交通安全	市民一人ひとりの防犯や交通安全に関する意識向上や関係機関との連携強化により、犯罪や交通事故等が抑制され、安心して暮らすことができるまちを目指します。	①刑法犯認知件数 ②消費生活相談における助言・斡旋解決率 ③高齢者の交通事故発生件数	453件 91.7% 99件	令和2年 令和2年度 令和2年	420件 94.0% 87件	493件 93% 89件	300件以下 96.0% 76件以下	令和8年 令和8年度 令和8年	B B B	B B B	令和5年度の「刑法犯認知件数」の実績値は、自転車や車上ねらい等の増加により、令和4年度と比較し、増加している。一方で、「消費生活相談における助言・斡旋解決率」と「高齢者の交通事故発生件数」は横ばいで推移している。目標達成に向け、各種取組を実施しており、概ね順調に進捗していると評価した。	市民生活課
	6 移動	持続可能な公共交通体系の構築や都市空間におけるバリアフリーの推進により、誰もが快適に移動できる環境づくりに取り組めます。	①公共交通の満足度(市民アンケート) ②市の補助により運行する路線バスの路線数 ③コミュニティバス及びデマンドタクシーの年間利用者数の合計人数	44.4% 9路線 196,816人	令和2年度 令和2年度 令和2年度	— 9路線 216,847人	— 9路線 231,378人	56.8% 9路線 280,000人	令和8年度 令和8年度 令和8年度	B B B	A A A	施策分野における目標の達成に向け、順調に進んでいる。	企画調整課
	7 都市創造・住まい	中心市街地に、医療、福祉、商業等の都市機能を誘導するとともに、良質な住宅の普及と空き家や低未利用地の利活用を進め、市民が快適に住みやすく、賑わいのあるまちづくりを目指します。	①市街化区域内の居住人口 ②新築住宅に占める長期優良住宅の認定の割合	57,782人 18.6%	令和2年度 令和2年度	57,300人 26.07%	56,800人 19.58%	57,800人 20.0%	令和8年度 令和8年度	B B	B B	いずれの施策でも令和5年度は定量的な実績を挙げており、社会情勢やニーズ等に対応した取り組みが進捗していることから、おおむね順調に進んでいると評価できる。	建設計画課

令和5年度君津市総合計画に係る施策評価結果(比較表)

柱	施策分野	概要	指標	現状値		実績値 R4(2022)	実績値 R5(2023)	目標値		R4(2022) 評価	R5(2023) 評価	R5(2023)評価理由	担当課
				数値	時点			数値	時点				
5 パートナ ーシッ プ・人 権・行 財政	1 パートナーシップ	市民・事業者・行政・学術機関など様々な主体がともにまちづくりを進めることで、あらゆる市民にとって住みよい魅力的なまちを目指します。	①市民活動団体新規応募団体	3件/年	令和3年度	3件/年	5件/年	3件以上/年	令和8年度	B	A	市民団体や協定締結企業との連携を密にし、昨年度より応募団体及び取組事業数が増加しているほか、指標にない広域連携の取り組みについても、中間処理施設の整備に向け計画通りの進捗を確認するなど、順調に進んでいるため。	政策推進課
			②包括連携協定締結企業との取組事業数	4件	令和2年度	6件	10件	10件以上	令和8年度				
	2 地域コミュニティ	子どもから大人まで様々な人々が意欲的に地域活動へ加わり、地域の絆をより深めることができるよう、地域コミュニティの更なる活性化を図ります。	①自治会加入世帯数	25,036世帯	令和3年度	24,574世帯	24,480世帯	25,100世帯	令和8年度	B	B	清和地域における拠点複合施設開館や関連した4つの取組(例:イベント数9・参加者数110)と地域団体支援、また、新たな「地域づくり協議会」の制度制定などの取組が着実に進行しているため、総合的に概ね順調に推移していると評価した。	地域づくり課
			②新たな拠点で取り組む地域課題に向けた活動数	新規	—	—	4	5	令和8年度				
	3 人権・男女共同参画	市民一人ひとりがそれぞれの多様性を認め合い、誰もが自分らしく輝ける社会の実現を目指します。	①人権問題への関心や理解が深まった割合(セミナー等参加者アンケートによる)	89.8%	平成29年度から令和3年度の平均値	87%	94.4%	90.0%以上	令和8年度	C	B	各施策において、目標に向けて事業への取り組みを継続できている点、及び指標の達成状況の数値も前年度比で向上している点を評価した。	市民生活課
			②審議会等における女性委員の割合	22.1%	令和2年度	21.5%	23.3%	40.0%	令和8年度				
			③社会慣習・しきたりの面で男女平等であると感じる市民の割合(男女共同参画化社会に関する市民意識調査)	15.2%	令和3年度	—	—	30.0%	令和8年度				
	4 公共施設マネジメント	公共施設の「質」・「量」・「財政負担」の最適化により、需要と供給が見合った持続可能な公共施設等の管理を目指します。	①公共施設総量(平成27年度)の削減	△8,006.92㎡	平成28年度～令和2年度	△2,252.05㎡	△2,361㎡	△17,164.20㎡	令和3年度～令和8年度	B	B	市有財産処分事業において、旧三島小学校を地域活性化に資する民間利活用事業者へ売却することにより、地域活性化を図るとともに公共施設床面積の削減効果が生まれ、事業進捗としてはおおむね順調に推移していると判断する。	公共施設マネジメント課
	5 シティプロモーション	君津の魅力を市内外に発信することで、市民の愛着や誇りの醸成、さらには本市の知名度やイメージの向上につなげ、関係人口の増加を目指します。	①「君津市に愛着・誇りを感じている」人の割合(まちづくりに関する市民アンケート)	77.6%	令和2年度	—	—	77.6%以上	令和8年度	A	B	施策分野の目標に対して、昨年度より継続した取り組みを進めることができたが、指標に対する評価を行っていない項目があるためB評価とする。なお、指標①②についてR6年度より実績評価を行うよう改善を図る。	政策推進課
			②君津市の認知度(対岸在住者アンケート)	26.3%	令和2年度	—	—	30.0%以上	令和8年度				
			③君津市を他者に推奨したいと思う人の割合(広報意識調査アンケート)	27.0%	平成30年度	41.2%	48.6%	27.0%以上	令和8年度				
	6 行財政マネジメント	多様化・複雑化する地域課題に対応していくため、財源の確保や行政改革の推進により時代の変化を的確に捉えた持続可能な行財政運営を行います。	①経常収支比率	89.2%	令和2年度	94.9%	94.1%(速報値)	89.2%	令和8年度	C	C	目標値を達成している項目はあるが、現在の財政状況等を考慮すると、更なる経営改革を推進するために、事務事業の見直しや、職員の意識改革などの取組を強化しなければならないことから、C評価とする。	総務課
②行政サービスのデジタル化を便利と感じている市民の割合(市民アンケート)			新規	—	62.5%	67.2%	50.0%以上	令和8年度					
③電子申請サービスの取組数			9	令和2年度	—	80	27	令和8年度					
④デジタルバイド対策講座の開催回数			16回	令和3年度上半期	17回/年	66回/年	30回/年	令和8年度					